

富士山とその世界

ここ、南館の1階では、富士山とその周辺が足元に広がっています。この巨大な等高線地図は、富士山を中心とした直径1,000kmの円形の範囲を表しています。地図上の丸がついた数字はユネスコ世界遺産に登録されている場所を示し、色のついた線は富士山とその周辺の拝所への経路を示しています。壁のパネルは地図の範囲外にある富士山ゆかりの場所を紹介しています。パネルの位置は富士山頂から見た各場所の方角を示しています。

1階全体が富士山とその世界の縮図であり、長年にわたってこの山が生み出した3つの主な礼拝形態と宗教的な慣習を表現しています。

- **遥拝**：直接、あるいは想像上で崇拝する対象としての富士山
- **登拝**：神のいる場所まで登り生まれ変わって戻ってくる
- **巡拝**：八海巡りやお鉢巡り（山頂火口周辺）など、富士山と周辺地域の霊場を巡るルート

来館者はこの空間を自由に見てまわれます。富士山北側の吉田からは、北口本宮富士浅間神社の大鳥居をくぐって吉田口登山道で山頂に向かった江戸（現在の東京）の富士講巡礼者の足跡をたどることができます。また、神秘的な溶岩洞窟や神社を巡りながら富士山をゆっくりひと回りすることもできます。フロアのあちこちに設置された展示コーナーでは、美術、文学、歴史、そして異世界の広がる山頂といったテーマからより深い学びが得られます。来館者各自の興味に合わせたおすすめルートも用意されています。